

岡山市介護ロボット普及推進事業 結果概要

令和7年3月

目次

事業概要	_____	3
対象の介護ロボット・実績 【機器貸し出し】	_____	4
事業所としての機器導入効果 【機器貸し出し】	_____	6
機器ごとの事業効果 【機器貸し出し】	_____	8
昨年度貸出事業所について 【事後アンケート】	_____	9
今後に向けて	_____	10

事業概要

■機器貸出

目的

介護事業所の職員の負担軽減及び要介護者等に対する見守り、日常動作補助、精神的ケア等に資するものの中で、有効性等が特に高いと認められるもの（以下「対象介護ロボット」という。）を無償で貸し出すことで、その利用促進を図ることを目的とする。

内容

委託する介護ロボット製造事業者等から、介護事業所に対し、3か月間無償で貸し出しする。

前期：令和6年7月～9月 後期：令和6年11月～令和7年1月

対象事業所 介護保険法に規定するすべての介護サービスを提供する事業所

貸出対象の介護ロボット：市が指定する5種（次ページのとおり）

貸出期間終了後 事業所内職員の評価と意見を取りまとめ、報告を行う。

昨年度の貸出事業所を対象に、事後アンケートを行う。

■研修会

目的

介護ロボットに関する情報提供及び体験をする場を設けることにより、利用促進を図ることを目的とする。

方法

集合形式

内容

介護ロボットをテーマとした研修を年2回行う。各研修会の詳細は別添のとおり。

- ・介護ロボット（Kebbi Air）研修会（貸し出し機器にはなっていない新しい介護ロボットの紹介）

第1回 令和6年7月24日（水）13:30-14:50

第2回 令和6年7月24日（水）15:10-16:30

参加者数 計 30人

- ・介護ロボット研修会（介護ロボット展示会）（展示会方式で9機種を紹介する）

令和6年10月31日（木）13:00-16:00

参加者数 計 49人

対象の介護ロボット・実績【機器貸し出し】

■貸出対象の介護ロボット

- ・ロボット・ロボット技術（情報を感知し、判断し、動作する、という3つの要素技術を有する、知能化した機械システム）を適用して、従来の機器ではできなかった優位性を発揮する機器
- ・技術革新やメーカー等の製品開発努力等により、新たに開発されるもので、従来の機器では実現できなかった機能を有する機器

TANO

センサーの前に立つだけで、体の動きや音声に反応して直感的に楽しめる、自立支援・モーショントレーニングシステム。



コミュニケーション

COMUOON (コミュニン)

マイクから入力された音を分解し、聞き取りやすいクリアな音へと変換する全く新しいカタチの対話支援機器。



見守り

ペイシェントウォッチャープラス

赤外線カメラやセンサーにより、バイタルや起床・離床を把握することができる見守り機器。



眠りSCAN

マットレスの下にセンサーを敷き、睡眠状態・起き上がり・離床・在床を把握することができる機器（5台1セットでの貸出）。



ダーウィンハコベルデ

介助動作における前傾・中腰姿勢の維持や体幹を起こす動作を補助するアシストスーツ。



移乗支援

■介護ロボット貸出実績

サービス種別	事業所数	機器ごとの台数内訳（台・セット）					
		TANO	COMU OON (コミュニケーション)	パシエント ウォッチャー プラス	ダーウィン ハコベルデ	眠りSCAN	
在宅系	(地域密着) 通所介護	3	1	0	0	4	0
	通所リハビリテーション	3	3	0	0	0	0
	小規模多機能型居宅介護	2	1	1	0	0	0
	訪問介護	0	0	0	0	0	0
施設・居住系	(地域密着) 介護老人福祉施設	8	2	0	7	2	2
	介護老人保健施設	3	0	0	0	5	0
	介護医療院	2	0	0	0	5	1
	認知症対応型共同生活介護	7	1	0	9	8	3
	特定施設入居者生活介護	1	0	0	0	0	2
貸出合計		29	8	1	16	24	8

事業所としての機器導入効果【機器貸し出し】

各貸出期間終了後、全事業所が報告書を機種ごとに提出。（29参加事業所から32枚報告書の提出あり）

介護ロボット導入による業務負担感・やりがい

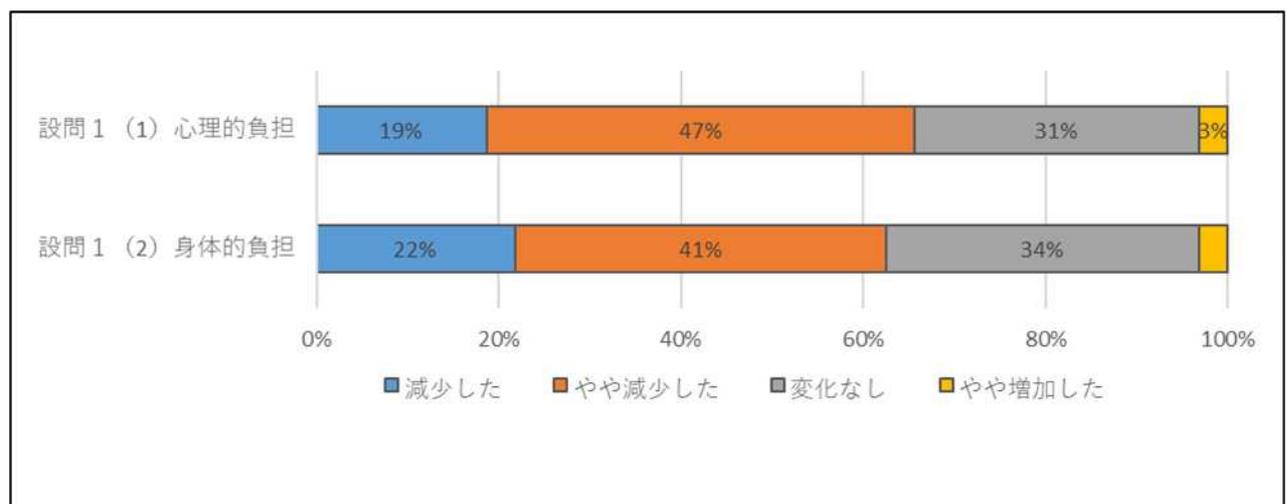
設問1

今回の事業で介護ロボットを導入したことより業務負担感、やりがいに変化がありましたか。

(1) ~ (4) 各項目について、該当するものを選んでください

(1) 心理的負担 (①減少した : ②やや減少した : ③変化なし : ④やや増加した : ⑤増加した)

(2) 身体的負担 (①減少した : ②やや減少した : ③変化なし : ④やや増加した : ⑤増加した)



((1) (2) ⑤増加した 回答なし)

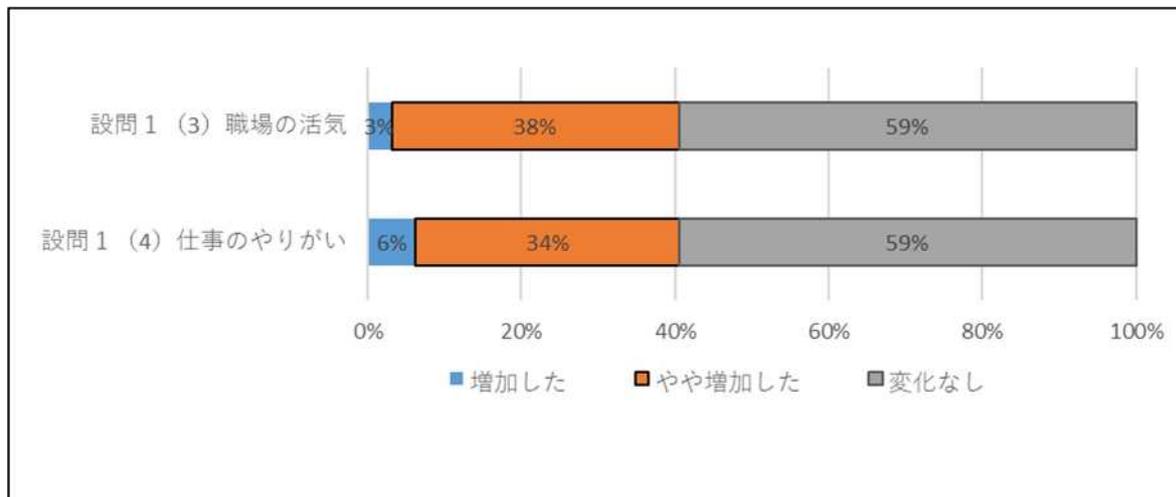
半数以上の事業所が介護ロボット導入したことが負担軽減につながった。

(減少した、やや減少したと回答した事業所は心理的負担について66%、身体的負担について63%)

設問1

(3) 職場の活気 (①増加した：②やや増加した：③変化なし：④やや減少した：⑤減少した)

(4) 仕事のやりがい (①増加した：②やや増加した：③変化なし：④やや減少した：⑤減少した)



((3) (4) ともに ④やや減少した、⑤減少した 回答なし)

約4割の事業所において、介護ロボット導入したことで職場の活気や仕事のやりがいにプラスの効果があった。

■事業所としてのプラスの変化・導入効果 (自由記述) (設問2)

- ・ 職員の心理的・身体的負担軽減につながった。
- ・ 利用者の睡眠の質の向上、転倒リスクの軽減、自立支援や活動機会の増加などでQOLが向上した。
- ・ 訪室の回数が減ることで、頻回な訪室を嫌がる方のプライバシー配慮につながった。
- ・ 職員も楽しみながら利用者とのレクリエーションを行うことができた。
- ・ 利用者も興味を興味津々で話が弾んだ。
- ・ 機器の導入したことに対し、興味を示す職員が多くいた。

■事業所としてのマイナスの変化・影響・導入課題 (自由記述) (設問3)

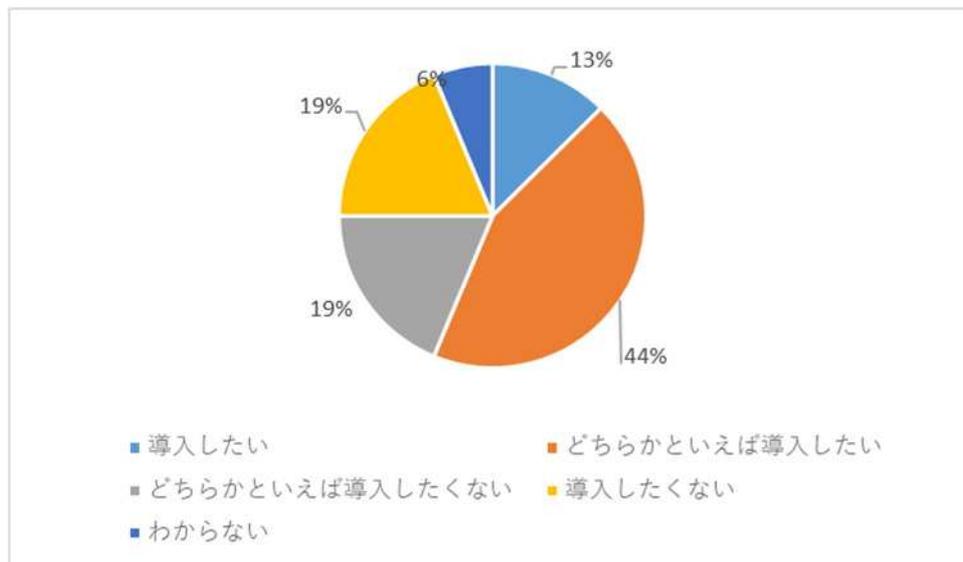
- ・ 費用対効果を考えるとすぐに購入にはつなげることができない。
- ・ 交代制勤務のため、主に管理する職員の負担がやや増加した。
- ・ 運用面を事業所内で検討する必要があるあった。
- ・ 機械の操作やデータの活用に習熟が必要だった。
- ・ 職員高齢化のため介護ロボットを使える職員が少なかった。
- ・ 機械に抵抗を感じる利用者もあり、心理的ケアが求められた。

介護ロボットの導入希望

設問4

今回利用した介護ロボットを導入したいですか。該当するものを選んでください

(①導入したい：②どちらかといえば導入したい：③どちらかといえば導入したくない：④導入したくない：⑤わからない)



事業終了後、導入に前向きな事業所の割合は約半数（57%）、利用効果は感じるものの、導入にあたっては、事業所として慎重になっていると考えられる。

機器ごとの事業効果 【機器貸し出し】

機種ごとの事業効果は次頁のとおり

■機種ごとの事業効果

	設問 1	減少した	やや減少した	変化なし	やや増加した	増加した	設問 1	増加した	やや増加した	変化なし	やや減少した	減少した	設問 4	導入したい	どちらかといえば導入したい	どちらかといえば導入したくない	導入したくない	わからない
TANO	(1) 心理的負担	1	2	5	0	0	(3) 職場の活気	1	4	3	0	0	導入希望	1	4	2	1	0
	(2) 身体的負担	0	5	3	0	0	(4) 仕事のやりがい	1	5	2	0	0						
	設問 2～4 自由記述	<ul style="list-style-type: none"> ・内容が多く、いつも異なる内容でレクリエーションの時間が盛り上がり、利用者は楽しんで参加していた。身体機能が少し上がった方もいた。 ・機能訓練及びレクリエーションの充足につながった。 ・職員の高齢化のため、TANOを使える職員が少なかった。利用者も難しくてできない人が多く、そのために人員が必要となった。 																
COMU OON (コミュニ オン)	(1) 心理的負担	0	0	1	0	0	(3) 職場の活気	0	0	1	0	0	導入希望	0	1	0	0	0
	(2) 身体的負担	0	1	0	0	0	(4) 仕事のやりがい	0	0	1	0	0						
	設問 2～4 自由記述	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が聞きやすいと言われたり、職員も声を張らなくても楽にコミュニケーションをとることができた。 ・職員によっては面倒といって拒否する人もいたが、好意的な意見も多かった。しかし、導入するには価格には見合っていない気がする。 																
バイシエント ウォッチャー プラス	(1) 心理的負担	2	5	0	1	0	(3) 職場の活気	0	5	3	0	0	導入希望	2	4	1	1	0
	(2) 身体的負担	4	2	1	1	0	(4) 仕事のやりがい	0	3	5	0	0						
	設問 2～4 自由記述	<ul style="list-style-type: none"> ・コール対応でも余裕を持って対応ができた。利用者も不必要な訪室が減り、質の良い睡眠が確保できた。 ・PC及び携帯で様子を確認することができ、異常の早期発見や転倒等事故の回避に繋げることができた。 ・タブレットで様子を確認することができるが、アラームがなることが多く、訪室の回数が増え、職員に負担が増えた。 																
眠りSCAN	(1) 心理的負担	1	4	1	0	0	(3) 職場の活気	0	1	5	0	0	導入希望	1	2	0	2	1
	(2) 身体的負担	1	3	2	0	0	(4) 仕事のやりがい	0	1	5	0	0						
	設問 2～4 自由記述	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニットケアを行う上で有効活用できる。睡眠の質の確認が確認できることから24シートを整えていくことにつながった。 ・呼吸数や心拍数の把握で、特変の早期発見につながった。また、覚醒状況の把握ができるため、覚醒のタイミングでトイレ等の介助に入るなど睡眠の質の向上につながった。 ・入所者の平均介護度が低いので、動かれる方が多く合わないように思われた。 																
ダーウィン ハコベルデ	(1) 心理的負担	2	4	3	0	0	(3) 職場の活気	0	2	7	0	0	導入希望	0	3	3	2	1
	(2) 身体的負担	2	2	5	0	0	(4) 仕事のやりがい	1	2	6	0	0						
	設問 2～4 自由記述	<ul style="list-style-type: none"> ・腰痛発生時の歩行サポートや、中腰姿勢での身体への負担軽減を感じることができた。 ・装着が煩わしかった。夏場は暑かった。期待したほどの身体的負担が軽減できなかった。 																

昨年度貸出事業所について【事後アンケート】

昨年度貸出事業所 33 事業所に 1 年後の現状を確認するために事後アンケートを実施。

実施期間 令和 6 年 11 月 13 日～12 月 2 日

実施方法 メール

回答事業所 14 事業所

設問 1 岡山市介護ロボット普及推進事業に参加後、貴事業所では介護ロボットを導入しましたか

(事業所数)

導入した	0	(設問 2 へ)
導入を検討している	2	(設問 3 へ)
導入していない	12	(設問 3 へ)

設問 2 岡山市介護ロボット普及推進事業に参加後、貴事業所で介護ロボットを導入した理由何ですか

(事業所数)

業務改善（職員の負担軽減など）に繋がったから	0
介護サービスの向上に繋がったから（利用者から介護ロボットの利用について好評だったなど）	0
その他	0

設問 3 岡山市介護ロボット普及推進事業に参加後、貴事業所で介護ロボットを導入していない理由は何ですか

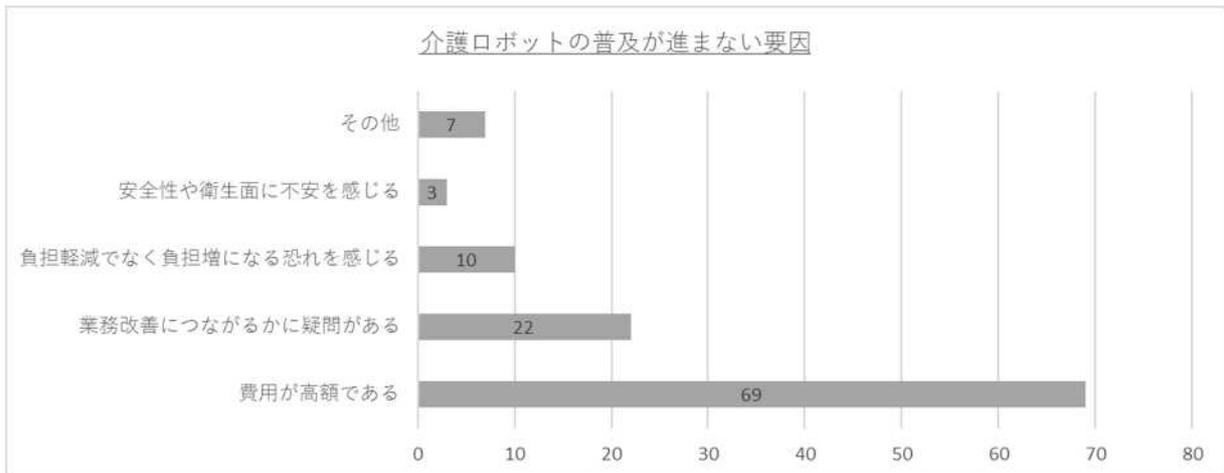
(複数回答) (事業所数)

業務改善（職員の負担軽減など）に繋がらなかったから	3
職員の負担を軽減するどころか、逆に負担（介護ロボットの取扱いや利用者対応など）が増加したから	0
介護サービスの向上に繋がらなかったから（利用者から介護ロボットの利用について不評だったなど）	1
導入した方がいいとは思ったが、導入費用が高額だったから	10
その他	3

今後に向けて

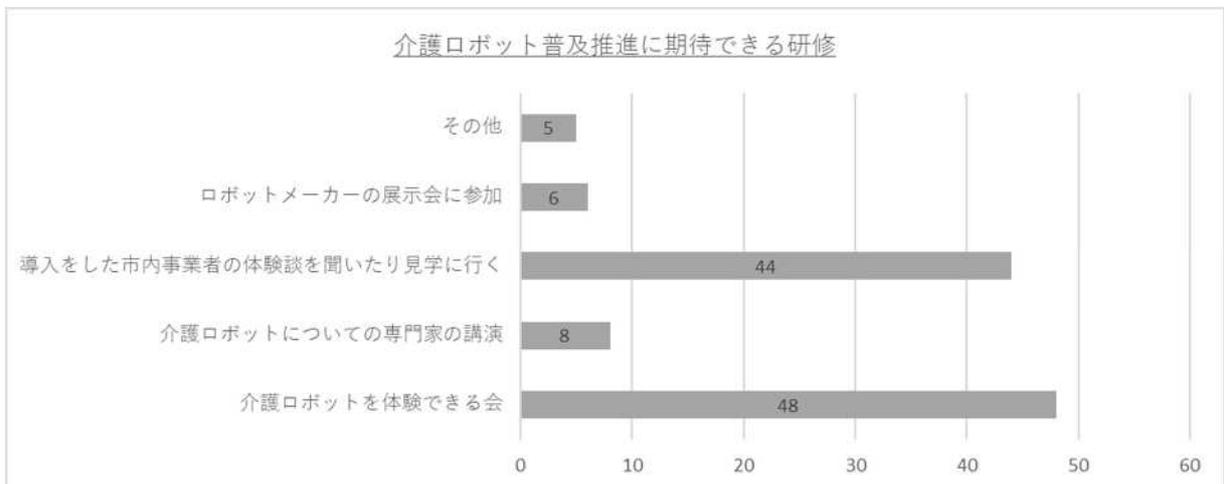
機器貸出、研修の際に、介護ロボットの普及が進まない要因、及び介護ロボット普及推進に期待できる研修についてアンケートを行った。

設問 介護ロボット普及が進まない要因は何だと思えますか。



(n=111)

設問 介護ロボット普及推進に期待できる研修はどのようなものだと思いますか。



(n=111)

介護ロボットは、介護従事者の負担軽減や離職防止に資すると見込まれながら、上記で示したように金額が高額であるなど諸要因から現場への導入が進んでいない。テクノロジー活用の効果や、導入に向けた支援制度の情報等を適切に提供することにより、引き続き導入支援を行う。また、岡山県が設置している介護現場革新会議に参加することより、介護生産性向上総合相談センターの事業の運営方針の検討に加わるなど、県と連携し更なる生産性向上に向けた支援を行っていく。